

東京電力の原発で使われている燃料棒は、燃料のウランを濃縮して指先ほどの大きささに焼き固めた「ペレット」を「被覆管」と呼ばれる金属の筒に数百個詰め込んだもの。この燃料棒を数十本たばねたものを「燃料集合体」と呼ぶ。原子炉の大きさによって異なるが、炉心に挿入される燃料集合体の数は数百になる。